

NPO がつなぐ 教育 CSR のネットワークづくり

---

■ 5月14日（月）13時～16時まで

県庁7階 ミーティングルーム

出席者 古川、田中、伊藤文、高山、伊藤、北岡、山口

1、 トリオの考えるキャリア教育

世の中の様々な体験を通じて、感性を磨き、考え、自発的に行動する力を育む教育  
自らの「幸せな仕事」を見つけ、物心ともに豊かな人生を作り上げる

2、 キャリア教育の最終

地域で働く人が生き活きとやりがいを持って、元気に働くことで  
地元産業、企業が活性化すると共に地域全体が活性化する。

3、 中長期目標

中学、高校生時に地元の産業、企業に触れ合って、地域及び社会の環境を理解し  
職業観、勤労観を育み、長期に渡って良き社会人として生活できる基礎力を育む。

4、 地域活性化の指標

- 1) 社員の定着・離職率の低下
- 2) 産業基盤がより強くなる（技術開発、商品企画、販売）
- 3) 企業求人数の増加（雇用の安定）
- 4) 企業等の財務基盤強化（県税込アップ）

こども局・・・子育て、自己肯定感を大事に、あらゆる大人が関わる（地域全体で関わる）

条例がある。対象は、家庭、学校、地域（企業）全部を含む  
わくわくチャレンジの説明、県政だより参照

雇用経済部・・・雇用対策課 若者就労支援グループ 能力開発グループ、  
ものづくり推進課 人材育成グループ

県教育委員会・・・今後のスケジュール案提出  
モデル事業、インターンシップ（以下みえチャレ）の  
今後の進め方

参加者で本事業の目指す姿の共有をした

指標については、目標とする数値をどうするかを話しあった結果、短期で達成することは難しいが長期的な数値目標は目指すべき姿として必要だろうということで、まず現状分析から始めることとする。

事業については効果測定をそのつどしていく。（定性的に、定量的に）

■ 5月25日（金）県教育委員会とトリオの会議

県庁7階

- 1、 今後の進め方
- 2、 今後の具体的な内容について

今後の予定

6月4日 県教育委員会とトリオの会合

6月上旬 トリオ勉強会 本事業の意義確認 みえチャレ構築作業

6月中旬 第三回 会議 みえチャレ内容説明、スケジュール確認、役割分担